

月刊島民

中之島

Vol.38 2011 9/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



中之島から考える
大阪経済入門。



ナカノシマ大学

近藤雄生×竹岡寛文

「中之島から
旅に出よう!」

申し込み受付中!

〈特集〉

中之島から考える 大阪経済入門。

リーマン・ショック以降の経済状況の悪化に始まり、大阪経済の問題点を指摘する声は数限りない。そのため、一体何が問題なのかすらわからないのが正直なところ。古くから大阪経済の中心地であった中之島から、現在の大阪が抱える経済諸問題を考えていく。

大阪支店開業までのあゆみ

日本銀行大阪支店が開業したのは明治15年（1882）のことであった。その年の10月、東京に開業した日本銀行本店は、大蔵卿に対し、大阪に支店を設置するよう求める「大阪府下へ日本銀行支店設置之義願書」を提出する。それによれば、「大阪は百貨輻湊商業繁盛の地にして、東京と東西相対し財路之関係至大」とあり、当時の大阪が日本経済の安定のために重要な地点だったことがうかがえる。

これを受けて、本店開業からわずか2ヶ月後の12月18日、東区今橋通5丁目（現在の大阪倶楽部の場所）にて大阪支店は営業を開始する。開業時の行員は支店長以下わずか15名だった。翌年の6月に行われた開業式には、関係者数百名が集った。その後、大川町現在の三井住友銀行大阪本店の場所に

一旦移り、明治36年（1903）に現在の場所へ移転する。ちなみに、移転前のこの地には大阪商工会議所や大阪証券取引所を設置したことで知られる五代友厚の邸宅があった。これもまた大阪経済のあけぼのを感じさせる逸話である。

建物の設計は重鎮・辰野金吾

御堂筋に面して今なお偉容を誇る建物（旧館）は、竣工当時の人々の目を見張らせたことだろう。設計者は辰野金吾。近代建築界の超大御所である。御影石を惜しげもなく使った建物は、ベルギーの国立銀行を模したと言われ、中央にドーム屋根を配するなどネオ・ルネサンス様式が用いられている。重厚で威厳たつぶりの外観はまさしくバンク・オブ・ジャパンにふさわしい。老朽化と地盤沈下の影響で、昭和55年（1980）から2年かけて復元・

大阪経済の中枢

日本銀行
大阪支店を

訪ねる。

取材・文／大迫力（本誌）



K of JAPAN

改築工事を着工。その際には地元の市民から熱心な保存希望が寄せられると共に、文化庁からの強い要請もあったという。これにより外壁や屋根のほか内部の貴賓室、大階段などが残された。日本銀行の支店は国内各地にあるが、「これだけ美しい建物が、転用されることなく残されている例は少ないのでは」と大阪支店営業課の伴野幸久さん。島民はもつとこの建築を誇るべし、だ。

日銀のお仕事は？

それでは日銀の業務について見ていこう。まずは日本銀行券、つまりお札の発行である。次に、金融機関に融資を行ったり、一般の金融機関同士の取引決済を行う「銀行の銀行」としての役割がある。また、国庫金の出納も行うことから「政府の銀行」とも呼ばれる。その他、企業への景況感についての調査を元にした「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）の発表がよく知られたところだが、簡潔に言えば金利や通貨量の調整といった各種政策により、物価と国民経済の安定を確保するのが日銀の役目と言える。

教科書的な説明はこれぐらいにして、具体的にはどんな部署や業務に分かれているのか、大阪支店の場合で見えてみよう。

●営業課 企業や銀行に向くなどして、地域の金融・経済に関する情報を収集。政策判

断や金融システムの安定に役立てるほか、地域経済の発展のために情報還元を行う。

●業務課 「銀行の銀行」や「政府の銀行」としての機能を果たす。金融機関との取引を行ったり、公共事業費、年金の支払いや税金の受け入れを行う。国債の発行に関わる業務も。

●発券課 日本銀行券（紙幣）を発行する。その他に政府が発行する貨幣も扱っており、世間にお金を供給する役割を担う。破れたりしたお札・貨幣の引き換えもこちらの仕事。

●文書課 多岐にわたる内部管理事務を担当。企業で言えば総務の立場か。本店が被災した時のバックアップ体制の整備にも努める。

現在、支店に勤務する職員の総数は約300名。男女比は6・・・4くらいの割合で男性が多いのだそう。

取り扱う「お金」について

大阪府・奈良県・和歌山県の3府県を管轄する大阪支店が取り扱う現金はどのくらいの規模なのか。2010年の動きで言うと、受入高は1兆1724億円、支払高は9兆4062億円となっている。大阪支店の場合、受入高の方が多く、この状態を「受超（うけゆう）^{うけゆう}」と呼ぶ。この数字からは大阪支店の管内において、管外の地域からどれくらい現金が入って来ているのか（受入高）、またどのくらい出て行っているのか（支払高）が分かる。大阪支店の場合は観光などでやって来た人が現金を落とし、てくれている額が多いため、「受超」になる。そう聞くと儲かっているよう

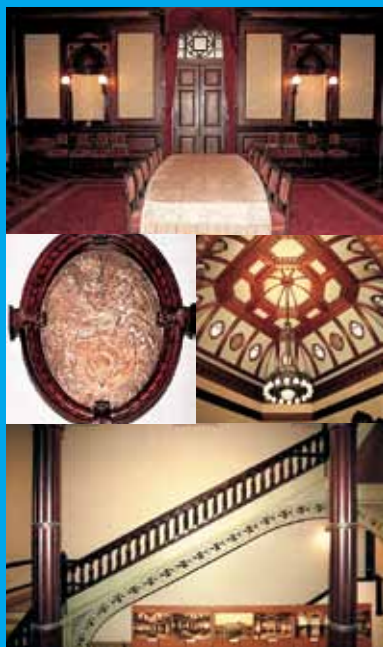


◎お話をうかがった人
（右から）
営業課
伴野幸久さん
水越康浩さん
中山 興さん

THE BANK

誌上社会見学/ ニチギンにお邪魔します。

写真／日本銀行大阪支店ホームページより



上の写真は貴賓室として使われていた部屋で、要人などが通された。天井も実に豪華な造りで、四方のレリーフには鳳凰がかたどられている。下の写真は階段室。開設当時のもので、アーチ式の構造が美しい。



こちらは資料展示コーナー。歴史を伝える写真パネルや、使われている道具などが見られる。左下は破損した紙幣の大きさを計るもの。右は大口の支払い時の札束の見本。100万円の束100個、つまり1億円！

◎「見学したい！」人は…

見学希望日の3ヶ月前の月の、第1営業日から2週間前までに連絡を（事前予約制）。事情により、希望の日時に添えない場合もあり。

問い合わせ／日本銀行大阪支店営業課

☎06-6206-7742（平日9:00AM～5:00PM）

「大阪ならではのあれこれ」

に思えるが、これは経済活動の結果生じた現金の動きを反映したものであり、単純な収支ではない。受入・支払の額が大きくなれば、それだけ活発にその地域で現金が動いているということ。現在の大阪支店の取扱高は本店に次ぐ大きさであり、「人口や経済規模的に見て相応」（永越康浩さん）なのだそう。

日本銀行の業務は地域ごとにそれほど差があるわけではない。ただ、大阪支店には他の支店にはない大きな特徴がある。それは、先ほども少し述べた東京の本店が被災などによって機能不全に陥った時のバックアップである。日本経済がパニックにならないようにリスクを分散する役割が大阪には与えられていて、このため大阪支店は別名

「西の本店」と呼ばれている。

また、経済情勢において特徴的なのは、大阪府内にはあらゆる産業がまんべんなく存在していること。ネジを造る町工場からIT企業まで、さまざまな業種の会社があることから、地域経済が一遍に打撃を受けることが少ない。東日本大震災の影響を見ても、産業構成に偏りのある地域が深刻なダメージを被ったのとは対照的に、全体で見ればそれほど景気の落ち込みはなかった。先行きは電力不足問題などで不透明感があるものの、関西経済の底力が十分に発揮されるようサポートしていきたいとの意気込みも聞かれた。

私たちの接点

なかなか足を運ぶ機会のない日本銀行だが、私たちとの接点は意外に多い。

大きな観点から言えば、世の中にお金が必要に足らないようにするのも日銀の仕事。私たちが当たり前にお金を使うことができることそれ自体が、接点でもあるのだ（ワシの財布にはお金が不足しとる！というのはまた別のお話です）。ところで、日本のお札は世界一キレイと言われている。言われてみれば、そうかもしれない。お札を美しく保つことは偽札の防止になると同時に、日銀マンたちの誇りでもあるという。

もっと直接的な接点で言えば、破れたり燃えてしまったお札を交換してくれたり、税金や社会保険料の納付、公的年金や公共事業費の支払場所でもある。大阪支店でも行っているのが機会があれば行ってみよう。それから交通違反の罰金の支払いもできるが、これはあまり嬉しいくない用件ではある。

また、ホームページも私たちが簡単にアクセスできるものの一つ。一度覗いてみると、その充実ぶりに驚くだろう。建物の特徴や見学コースについての詳細な記事など楽しめる内容が豊富。近畿地方の経済概況や短観もすべて公開され、簡単に閲覧できるため、ビジネスに役立てられるかもしれない。

「1998年の新日銀法施行まで、日銀は戦時統制色の強い旧日銀法の下でどちらかというと「国のため」の御用機関の色合いが拭いきれませんでした。しかし、法改正以後は独立性と自主性が強化された分、説明責任も求められることを意識して、積極的に情報公開に取り組んでいます。ホームページもその一環なんです」と中山興さん。思いの外、バンク・オブ・ジャパンは私たちに身近な存在なのかもしれない。

大阪経済を知るための5講。

いざ入門!

文／齊藤成人（日本政策投資銀行関西支店 企画調査課長）
 さいとう・なるひと 株式会社日本政策投資銀行は、100%政府出資の政策金融機関。日本経済の発展のため、投資・融資の一体型金融サービスを提供しているほか、地域の経済調査など情報発信も行う。関西支店は淀屋橋にある。

【人口の推移】

「生めよ、増やせよ」は、第二次世界大戦前に閣議決定されたスローガンだった。経済学では「人口Ⅱ国のパワー」であり、今でも経済活力の源だ。

よく「今の大阪経済は元気がない」「昔の大阪は活気があったで」と聞くと、人口はどうだったのでしょうか（表1）。第二次世界大戦後、大阪市の人口は増えに増え続け、1965年には316万人に達しています。ちなみに、明治時代初期の大阪市の人口はわずか30万人でしたので、10倍です。

しかし、1965年をピークに人口は減少に転じており、もともと活気があったと言われる大阪万博の1970年には300万人を割ってしまっていました。そこから下降線をたどり、大阪の企業がどんどん東京へ本社を移し始めた1990年代後半には260万人を割ってしまいました。確かに実感として、大阪の景気と人口推移は連動しているようです。

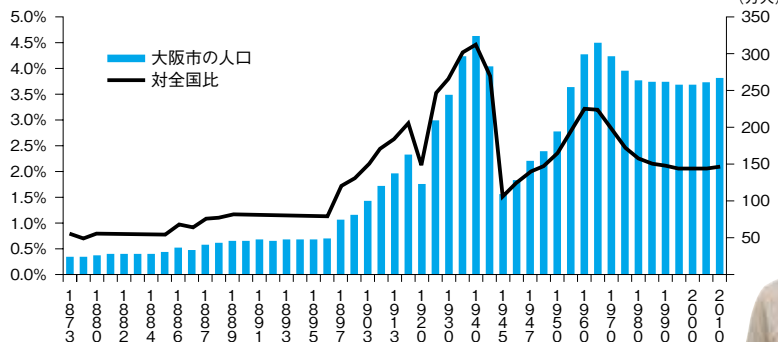
ところが、実は2000年に入って

からは大阪市の人口はわずかではあり

ますが増加しており、ここ最近、人口は260万人台に持ち直し、安定的に推移しています。2005年の国勢調査のデータをみると、特に人口流入が大きいのが中央区、次いで西区、天王寺区、北区と、JR大阪環状線の内側のエリアです。そう、中之島にも増えてきていますが、都心に新設されたマンションが、人口増の原因です。若い世代が都心のマンションに移り住んできているのです。

人口が増えれば、増えた人口の分だけそこに消費が生まれますので、その地域の経済は活性化します。そう言えば、中之島エリアにスーパーや飲食店が増えてきたと思いませんか？ 何年後かには、中之島はマンションだらけになり、商業施設も増え、ここに住む主婦が「ナカノシマダム」なんて言わ

●表1: 大阪市の人口の推移と対全国比



れる日がくるかもしれませんね。そもそも、もとをたたせば、中之島は江戸時代、大名各藩の屋敷がたっさんあった住居エリアでもあったのですから。

中之島経済史年表

1583年
大坂城築城

1610年頃
「常安所」設置、中之島開発始まる

豊臣時代に土木工事や河川改修で才覚を表した淀屋常安が、葦の茂る中洲だった中之島の開発を開始。「請所」とは荘園管理の全権を委ねられる制度。これによって街の基盤ができた中之島には、蔵屋敷が建ち並び、全国諸藩の食糧や名産品、それに貨幣が集まる流通・経済の中心地となっていた。「シマの不動産デベロップ」みたいなべき豪商は、天下の台所と淀屋繁栄の礎を築き、今も淀屋橋・常安橋にその名を残す。

1615年
大坂夏の陣、豊臣氏滅びる

1653年
「天満青物市」開設

大坂冬の陣（1614）以降は徳川方に付き、さらに勢いを増した淀屋。2代目の言當が京橋口の屋敷内で開いた青物市は、その後、天神橋北詰の川岸へ移る。ネギに干びう、カブ、大根……。市は大いに賑わい、独自に市場を開こうとする周辺の村としばしば摩擦を起した。淀屋はまた、シマの西に「雑駁場魚市」も設立。米市（左記参照）と合わせ、大阪三大市場を握った。

1697年
「堂島米市」開設

米の価格はかつて、各藩の蔵屋敷から米を買った仲買人がそれぞれに決めていたが、淀屋が全国の米相場の基準を整えるべく、中之島に米市を

【オフィス動向】

最近、タワーマンションが目立つようになってきた中之島周辺。「オフィス街」というイメージが、変わりつつある。

大阪市内で働く人は約222万人（平成18年事業所・企業統計調査）ですが、最近増加している人口と違い、年々減少しています。人口が変わらないといっても、高齢化が進んでいるので、働く世代がそもそも減っている。加えて、大阪発祥の企業がどんどん東京へ本社を移転し、働く場所自体が少なくなっているからです。

従業員1人あたりのオフィス面積は、ここ10年、3.5〜4.5坪の間で変わりません。ですので、働く人がいなくなれば、それだけオフィスの需要は少なくなっていくことです。

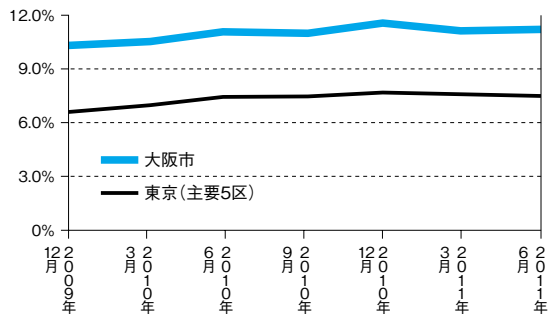
現在の大阪市内のオフィスビル市場を見れば、空室率は約12%です（表2）。仮に10階建てのオフィスを造っても、まるまる1フロア以上空いている

ということですね。一方、東京の空室率は7〜8%程度です。大阪市内のオフィスビルは余り気味と言えるでしょう。

オフィスの空室率は、経済状況のバロメーターです。経済が活性化すれば、それだけ雇用も増え、オフィスビル需要も高まります。そうすると、マネーもオフィスビル投資へと向かい、不動産市況が好転します。大阪市内はそれとまったく逆のことが起きているので、「経済状況がいまひとつ」と言えるのかもしれませんが、確かに大阪の失業率は全国第2位の高さで、地域内経済成長率も全国平均を下回り、経済に好調さが見られません。

オフィス需要が少なくなれば、古いオフィスビルが取り壊され、中之島の

●表2：空室率の推移



※東京主要5区は千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区（CB Richard Ellis調べ）

ようにマンションとして生まれ変わっていくのが一般的です。高層のオフィスの建築単価は100万円／坪を超えますが、マンションは70万円／坪程度と比較的安く造れますので、それまでは地価が高過ぎてマンションを建設できなかった場所にマンションが建てられるようになるのです。

【東日本大震災の関西経済への影響】

震災関連で報じられた企業の本社や工場などの「西日本シフト」のニュース。実際のところはどのような動きがあったのだろうか。

大阪証券取引所と東京証券取引所との統合が取り沙汰されているように、大阪の企業が東京の企業と一緒になる

と、本部機能を東京に移してしまうことが多く、大阪市内で働く人が減少しています。そうでなくても、最近では

交通網やITの発達で、大阪の営業所を閉める企業も多くなり、東京一極集中が加速していったので、寂しく感じ

近世

1705年 淀屋、取りつづ

あまりの繁栄ぶりがたたり、幕府に財産を没収される（**關所**）。「町人の身分に過ぎない振る舞い」が理由とされたが、実は、諸大名への貸付金が膨らみ過ぎたためだと言われる。写真は淀屋橋南詰にある「淀屋の碑」。



1730年

「堂島米会所」を幕府が公認

1867年 大阪税関の前身 「川口運上所」設置

大阪開港の前年、税関機能と外交事務を担う役所が中之島の西、川口の港に開設。初代の所長、つまり税関長は、外国事務局判事として大阪に赴任し、後に大阪経済の大立者となる薩摩藩士の五代友厚だった。

【大阪流通戦争】

今年の春に次々と開業を果たした大型商業施設。
一見華やかではあるが、実はまた別の問題を生むこととなった。

今一番、大阪市内で景気の良い話と言え、5月にJ-R大阪駅に新駅ビルが誕生し、梅田近辺のデパートの数が増えたことではないでしょうか。中之島で働くOLさんにとっても、会社帰りにどこのデパートに寄ろうかと楽しみも増えました。

大阪駅もそうですが、ここ数年、全国各地の駅前に商業集積が進んでいます。もともと駅は明治から戦前までは、古い繁華街から離れた場所にあります。ですので、全国の主要ターミナル

ていた人も多かったことでしょう。

ところで、3月の東日本大震災発生以降は、企業がリスク分散のために東京から大阪にオフィスの一部をシフトさせる動きが見られる、というニュースを耳にしたと思います。それを聞いて、大阪から東京に行ってしまった企業が再び戻ってくるかも、と感じた人

もいることでしょうか。実際はどうだったのでしょうか。

実は、数字を見てもそういった動きは見られません。オフィスの空室率は震災後も減少しておらず、むしろ震災後に新しいオフィスビルがどん

どん完成していくので、市内のオフィスビルの空室率は当面上昇すると予想されています。やはり企業にとって、従業員の通勤や、コストのかかるオフィス移転は簡単には踏み切れません。

一方、震災後に東京からの避難客などで満室と言われた市内のホテルも、今では客室稼働率が7割を切り、むしろ震災前よりも悪化しています。これは大阪に東京から避難してくる人よりも、外国人旅行者の減少が大きかったためです。企業の大阪シフトどころか、旅行者がよその国にシフトしていたのですね。

大阪市の経済指標をみても、震災によって特に大きく落ち込んでいるものはありません。他の地域の経済指標が落ち込む中で、変わらないということはまだマシなのかもしれません。ただ、震災後、明確に落ち込みをみせたのが、こうした観光関連統計なのです。

関西国際空港を利用した外国人旅客数を見ると、月20万人程度と、前年比75%程度の水準にまで落ち込んだままです。外国人旅行者は、関西にお金を落としてくれる存在なので、地域の景気にはダイレクトに影響します。一番困った震災の影響と言えるかもしれません。

関西国際空港を利用した外国人旅客数を見ると、月20万人程度と、前年比75%程度の水準にまで落ち込んだままです。外国人旅行者は、関西にお金を落としてくれる存在なので、地域の景気にはダイレクトに影響します。一番困った震災の影響と言えるかもしれません。

●表3：主要ターミナル駅ビル開業後の周辺地区商業施設の売上高増減率

駅前地区		繁華街		年度
大阪駅	48.1%	心齋橋 なんば 三ノ宮	▲5.8% ▲1.5% ▲5.2%	駅ビル開業初年度
札幌駅	30.8%	大通	▲25.5%	2002→2007年度
名古屋駅	20.0%	栄	▲4.0%	1997→2007年度
京都駅	26.8%	四条河原町	▲18.7%	1997→2002年度
博多駅	68.5%	天神	▲5.2%	駅ビル開業初年度

大阪駅、博多駅は試算。▲は減少率（日本政策投資銀行調べ）

明治～大正

1868年
明治新政府樹立

1871年
造幣局の前身
「大蔵省造幣寮」が創業

1878年
大阪商工会議所の前身、
「大阪商法会議所」設立
大阪証券取引所の前身、
「大阪株式取引所」設立

右の3つ、いずれも五代友厚が深く関わっている。造幣局は、役人として大阪に赴任した時から明治政府に設置を進言。貨幣の原料や炉を燃やす木材を船で運ぶため、大川べりの再興を目指して鴻池や三井、住友などの豪商と協力して設立したのが証券取引所と商工会議所。前者は堂島米会所をルーツとし、後者は大阪商人の信用第一主義の伝統を謳った。まさに「大阪の恩人」である。



1882年
「日本銀行大阪支店」(P2)開設

1903年
日本銀行大阪支店が、中之島へ移転

1910年
京阪電車、天満橋を起点に開通

【中之島を盛り上げるために】

暗い話題ばかりが続く印象のある大阪経済だが、再浮上のきっかけはないのか。海外・国内の例も参考にしながら、考えてみよう。

人口が増えない中、オフィスビル空室率を下げるのも、百貨店の売上を伸ばすのもなかなか大変です。戦後日本は人口が増えてきたので、国内を相手にしていれば商売が成り立っていました。少子化が進むとそうはいかなくなりました。もう海外に目をむけていくしかありません。でも、海外にものを売りに行くのもなかなか大変ですよ。それならば、外国から日本へ消費者を呼び込み、日本でものを売れば良いのです。

実は2008年のリーマン・ショックの後、東京・銀座の商業施設は一挙に売上が激減し、どの店も厳しい状況に陥りました。そこで銀座では、お店で中国のクレジットカード「銀聯カード」^{銀聯カード}を使えるようにして、中国人旅行者を呼び込み、彼らが大量の買い物をすることで、地域に多額のお金を落と

の繁華街は勢いが失われていつています(表3)。そもそも、大阪市内の年間小売販売額は4.5兆円と2002年あたりから横這いが続いている、増えてはいません。大型店舗が開業したり、百貨店が増床したりしているにも

かわらず、です。大阪市の人口は持ち直してきているとはいえず、劇的に増加しているわけはありませんし、1人当たりの年間小売販売額は100万円程度で、これもそう劇的に増えているわけはありません。また、新しい

商業施設ができたからといって、数百km離れたところからお客さんと呼べるわけではありません。そうなれば横這いの人口×100万円という限られた市場でパイを奪いあう事態となり、「勝ち・負け」が出てきてしまうのです。

してもらうようにしたのです。ちなみに日本滞在中の中国人の平均物品購入額は11・7万円です。ヨドバシカメラで大量の電化製品を買う中国人観光客の姿を見たことがあるでしょう。

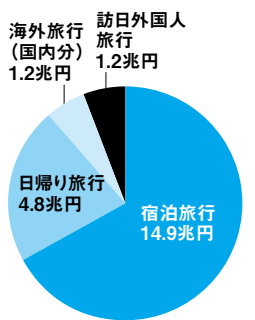
世界の旅行市場は急速に拡大し、20年前と比べ2倍、観光・旅行関連産業の経済規模は世界経済の9・4%を占めるまでになっています。ところが、日本における受入外国人旅行者数はわずか800万人強と、世界で28番目です。日本国内で使われる旅行関連消費の総額に当たる国内旅行消費額に占める割合も、5%程度にすぎません(表4・2009年度)。つまり、伸ばせる余地があるのです。

参考になるのはタイです。タイは「医療ツーリズム」で外貨を稼いでいます。タイには、病気の治療や手術のために毎年200万人の患者兼観光客がやっ

てきます。タイにおいて、医療ツーリズム関連の売上は観光収入全体の1割です。例えば、中之島に病院と長期滞在用マンションがセットであれば、これほど医療ツーリズムとして適している場所は日本にはないのではないでしょう。か。もともと阪大医学部があったくらいですから。

密からは水が見え、気晴らしには美術館、ちょっと歩けば百貨店があります。私たちを含めて、潜在的な大阪の魅力にまだ気づいていないだけかもしれません。

●表4: 国内の旅行消費額
22.1兆円の市場別内訳



昭和～平成

明治～大正

1911年
岩本栄之助が公会堂建設へ巨額寄付

「北浜の風雲児」と呼ばれた株相場師の岩本が「実業家は公共のために私財を投じるべき」との信念から100万円を寄付。現在の価値で80億円とも言われるが、後に相場で大損失を被り、公会堂の完成を見ることなく自決。

1926年
御堂筋拡幅工事が起工

1963年
京阪電車が天満橋から淀屋橋まで延伸



1970年
大阪万博が開催される

1999年
大阪国際会議場が竣工

2004年
大阪証券取引所ビルが新装

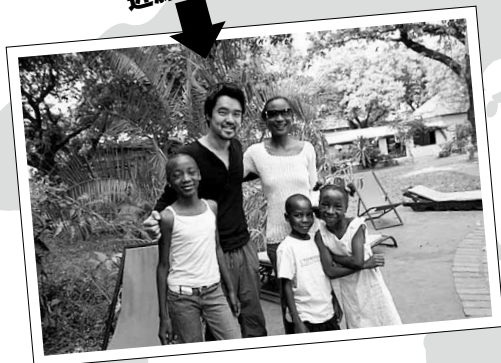
2008年
京阪電車中之島線(天満橋～中之島)が開業

2011年
10月講座

「中之島から旅に出よう！」

講師／近藤雄生(作家・ライター) 竹岡寛文(デザイナー)

世界を旅した
遊牧ライター！
近藤雄生



街道歩き
の
スペシャリスト！
竹岡寛文



会場は川べりのミュージアム。
開校2周年を記念して、
「アフターパーティー」も開催！

堂島川の川べりにある中之島デザインミュージアムが今回の会場。川を眺められるロケーションは、トークテーマの「旅」にもぴったりだ。また、ナカノシマ大学開校2周年を記念して、トーク終了後には講師のお二人を交えたアフターパーティーも開催(キャッシュオン・デリバリー制)。ふるってご参加ください！

ふらりとどこかへ出かけたくなる… 旅の達人2人が送る、未知なる「旅」へのススメ！

熊野詣や三十石船など、あらゆる「旅」の発着点となってきた中之島の歴史をご紹介した『月刊島民』7月号。その中で登場していただいた2人の「旅の達人」が今回の講師だ。

デザイナーを本業とする竹岡寛文さんは、学生時代に街道筋の街並みについて研究したことをきっかけに「道」に興味を持ち、東京・日本橋～京都・三条間の

中山道540kmを踏破。今年1月には京都～大阪・高麗橋の京街道55kmも踏破した。7月には、旅の途中で撮った6000枚に及ぶ写真を高速で連続再生し、旅程を疑似体験できるスライドショーがアイ・スポットで行われ、大好評を博した。

かたや、7月号で中之島放浪エッセイを書いてくださった近藤雄生さんは、世界放浪の達人。訪れた国の現地レポート

記事を日本の雑誌に送り、それを資金にまた旅を続ける遊牧ライター生活により、世界40カ国を旅した。

今回の講座では、そんな2人がコラボレーション。お互いの旅の様子を振り返りつつ、旅の魅力や見知らぬ土地を楽しみながら歩くコツを大いに語り合ってもらいます。きっとあなたもふらりとどこかへ出かけたくなくなるはず。

「中之島から旅に出よう！」

講師／近藤雄生 竹岡寛文

日時／10月27日(木)

会場／中之島デザインミュージアム de sign de >

受講料／1,500円

定員／100名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／大阪21世紀協会 中之島バンク

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学10月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)



毎度おなじみ、釈徹宗先生と高島幸次先生による「大阪の神さん、仏さん」について考える対談講座。第3回目となった今回は、いよいよ〈神さん編〉の最終回。大阪の神社に最も特徴的な、夏祭についての考察が繰り広げられた。まずは高島先生により、大阪の夏祭の象徴とも言える天神祭の特徴についてのお話し。天神祭を考える際に提示したのは「町の祭であること」だった。祭を「村」と「町」で比較した場合、稲作の有無が分岐点になる。「村」では豊作祈念から



講演の最後には高島先生の掛け声で「大阪締め」も。会場全体で「チョン、チョン」。

収穫への感謝まで、四季を通して祭が行われるが、「町ではその循環が消え、人が密集する土地においては、夏の疫病退散の祈り、つまり夏祭に凝縮された」という。

重要なポイントは「都市祭礼は、卵の黄身・白身・殻のように三層構造になっている」こと。核となる神事があり、その周りに氏子たちによる神賑行事（神さまをお迎えする行事）、そして一番外側に地域外からの見物客を呼び込むための観光行事があるという構造だ。高島先生は「天神祭は、古来より続く神事がしっかりと執り行われる傍ら、昭和56年（1981）に生まれたギャルみこしが神賑行事として祭を盛り上げている。伝統を守ることと安心を、変革を取り入れることで面白さを感じられることが、天神祭の規模の大きさの要因」と述べた。

対談に入ると釈先生は、祭に関わる食が重要な視点ではないかと宗教学の視点を導入。天神祭にまつわる食は、



「祭は、社会秩序が溶かされた状態＝コミュニティの状況をつくる機能もある」と釈先生。

代表的なハモだけでなく、白天、カワイレがあり、夏バテに効果のあるものばかり。これを聞いた釈先生は「神道のユニークさは生活から離れないところ」だと感想を述べた。「神社やそこで行われる行事は、もともと人間ではない神が、人間に親しみをもってもらうために施した装置。自らに対して祭好き、食好きという人間臭いエピソードや性格を付与したかったのでは」。

また、祭日によって日常と非日常という表裏の混在した状態を生み出す、祭の持つ両義性についても言及。それを受け高島先生は、大阪天満宮の祭神である菅原道真がもともとは人々を脅かす荒ぶる神であったことを例に挙げ、「天神さん自身が、人に恐れられているのか尊敬されているのか、両端の性格をもっている」と指摘。同時に、天神信仰が土着の神だった大將軍社に覆いかぶさる形で、勧請型の神として認められた歴史からもその両義性を裏付けた。



最後は神道と仏教の違いにまで話題が展開。「神道は民衆から浮かび上がってきた宗教ですから、性格づけ、ご利益、アクティブさも民衆がコントロールできるんです」という高島先生の解釈に、釈先生は「仏教はオリジナルが一番いいという考えで、常に原点に戻ろうとする力が働く」という違いを述べた。神さんと仏さんの違いがいっそう強調されたところで、〈神さん編〉は一段落。次回からは〈仏さん編〉へと突入していく。

2011年7月22日（金）

「大阪の神さん、仏さん part.1〈神さん編その3〉」

◎追手門学院 大阪城スクエア

対談／釈 徹宗（浄土真宗本願寺派住職）

高島幸次（大阪大学招聘教授／大阪天満宮文化研究所員）

このシリーズも、今回で3回目。お2人のセッションもすっかり息ぴったり。次々と明かされる大阪の宗教的ユニークさ。その特徴を探求する興味は、尽きることがない。



大阪・兵庫・奈良・和歌山の大学・研究機関が知力を結集したリレー講座

公開講座フェスタ2011 受講生募集中



素敵な学びの出会い、夢は未来へと翔る。

大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の33の大学・研究機関で構成している「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット」では、平成10年度から「公開講座フェスタ」を開催しており、今年で14回目を迎えました。

今年は、『未来への再生』を総合テーマとし、29講座を開催いたします。また、11月2日には作家の西加奈子さん、21日にはラジオDJの山本シュウさんを講師にお迎えして、特別講演を開催いたします。皆さんのご参加を心からお待ちしております。

今年の特別講演

I 11月2日(水) 7:00PM ~ 8:30PM 「読書がもたらすもの —小説は作者と読者の共同作業—」 西加奈子(作家)

大阪の人とまちを豊かな感性で描いた作品の多い西加奈子さん。「小説は作者と読者の共同作業である」と言われます。衝撃を受けた本との出会いや読書のもつ意味、そして、ていねいに描写される登場人物への思いや小説の魅力などについて伺います。

聞き手：浪川知子（読売新聞大阪本社文化・生活部記者）



II 11月21日(月) 7:00PM ~ 8:30PM 『We are シンセキ!』の心を届ける —ラジオボタン・プロジェクトで気づいたこと— 山本シュウ(ラジオDJ)

もともと僕たちはみんな同じ血が流れている本当のシンセキなんです。繋がり愛、支え愛、助け愛、お節介りの愛。「みんなシンセキなんだ!」と感じれば、もともと自分の中にある「愛」という優しい気持ちを引き出せると信じています。大震災直後より、全国から集めたラジオなどの物資とココロを被災地に届ける『ラジオボタン・プロジェクト』に取り組んできました。被災地で見たこと、感じたこと、気づいたことをお話しします。



開催期間／11月2日(水)～11月21日(月) 開催場所／さいかくホール(大阪府新別館北館1階)
募集定員／各講座150名(先着順) 受講料／各講座500円 募集期間／9月1日(木)～10月21日(金)
事務局／大阪府府民文化振興局都市魅力創造局文化課

●各講座の詳細は大阪府文化課ホームページ「公開講座フェスタ」をご覧ください。

<http://www.pref.osaka.jp/bunka/news/festa.html>

お申し込み方法

●はがき はがきに、住所・氏名(ふりがな)・電話番号と希望講座番号(複数申込可)を記入の上、下記までお送りください。
ただし1枚のはがきにつき、1名の申し込みです。

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 府民お問合せセンター「公開講座フェスタ2011」係

●ファックス はがきと同じ必要事項を記入の上、上記「公開講座フェスタ2011」係までお送りください。FAX.06-6910-8005

●インターネット 大阪府文化課ホームページ「公開講座フェスタ」よりお申し込み下さい。

<http://www.pref.osaka.jp/bunka/news/festa.html>

お問合せ／府民お問合せセンター「公開講座フェスタ2011」係 ☎#8001または☎06-6910-8001(平日9:00AM～6:00PM)



大阪市中央区大手前3-1-43

大阪府新別館北館1階

●地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、1-A出口方面へ約200m

●京阪電鉄「天満橋」駅下車、谷町筋を南へ約700m

公開講座フェスタ2011 参加大学・機関(29機関／順不同)

大阪音楽大学／大阪芸術大学／大阪信愛学院短期大学／大阪府立大学／関西大学／神戸学院大学／四天王寺大学／社団法人心理学明誠舎／園田学園女子大学／大阪大学・適塾記念会／帝塚山大学／帝塚山大学考古学研究所・附属博物館／奈良大学／桃山学院大学／追手門学院大学／大阪国際大学／大阪産業大学／大阪樟蔭女子大学／大阪樟蔭女子大学地域文化センター／大阪観光大学／大阪大谷大学／夙川学院短期大学／梅花女子大学／阪南大学／高野山大学／帝塚山学院大学／放送大学／畿央大学／大阪経済法科大学

21世紀の懷徳堂プロジェクト

9月の時間割

ナカノシマ大学ほか、
中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

※大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、参加店舗を募集中です。お問い合わせはsingles@do.ai (common café) まで。

2	金	7:00PM~	「青木由香『奇怪ねー台湾』日本語版 刊行記念トークショー&サイン会」 参加料：1,000円 (1ドリンク付き) 台湾でベストセラーとなった『奇怪ね』著者・青木由香さんによる、刊行記念トークショーを開催。	会場 I
3	土	8:00AM~ 10:00AM~ 1:00PM~ 3:00PM~ 5:00PM~ 7:00PM~	「中之島の水辺で水上さんぽ」奥谷 崇 (水辺ガイド) 参加費：3,000円 (レンタル一式+保険+協力金) 毎日開催! ボードの上でパドルを漕いで進む水上さんぽ、バランス感覚が身に付きエクササイズにもオススメ!	会場 C
		12:00AM~	絵本『泣きむしハナ 泣かなかった。出版記念トークイベント』 参加料：1,500円 (1ドリンク付き) アナウンサー西端さん進行役で、東野ひろあきさんと川崎あっこさんのトークショーを行います。	会場 I
5	月	7:30PM~ 9:30PM	「MC研究会 〜人前でのしゃべり、をみんなで研究しよう!」ネリ (ネリkitchen) 参加費：1フード・1ドリンクオーダー 自己紹介が苦手、分かり易くしゃべりたい、といった人たちが自主的に「しゃべり」を練習する場です。	会場 A
9	金	6:30PM~	「MASALAでゆんたく 焼酎と泡盛、沖縄の肴、三線ライブ付き」中原明子 (旅の酒肴料理研究) 参加料：4,000円 (5種の肴・1種の酒・三線ライブチャージ含む) 沖縄の酒の歴史や食生活について、沖縄の酒と肴を交えて。※詳細はお店のウェブで	会場 B
10	土	2:00PM~ 4:00PM	「健康講座〜自分のカラダを自分で治す」合田光男 (国際東洋医療専任講師) 受講料：2,000円 身体の不調を手技、つば療法、金粒療法、東洋医学経筋治療により自分の手で整える方法を学びます。	会場 E
10 17 24	土	各4:00PM~	「3回でマスターする沖縄料理」中原明子 (旅の酒肴料理研究) 参加料：3,500円 (3回通で¥10,000円に) 沖縄ジャンクフードfromアメリカ、奄美の系譜を持つ料理、テーマ別に学んで楽しめます。※詳細はお店のウェブで	会場 B
11	日	11:00AM~ 2:00PM	ポーポー屋料理教室「皮から手作り! 餃子に挑戦!」中東ゆうこ (「ポーポー屋」店主) 料金：3,800円 みんな大好き! 餃子を皮から作ります。焼き餃子に水餃子! 餃子に合う副菜も。	会場 G
14	水	7:00PM~ 9:30PM		
15	木	1:00PM~ 2:00PM	「組み合わせて創る。オリジナルTシャツを創る会。」hellbent lab. トッシー (Tシャツ作家) 参加費：3,675円 (Tシャツ代含む) 各回定員：3名 ご自分のイラストか作家オリジナルの絵を選び、本格的Tシャツをプリントします。	会場 F
16	金	3:00PM~ 4:00PM		
17	土	5:00PM~ 6:00PM		
17	土	2:00PM~ 4:00PM	「工作教室Coppa!! 一秘密基地をつくろう!」ムラバヤシケンジ (アーティスト) 料金：1,800円 ダンボールや紙筒をつかって、秘密基地を作ってあそびましょう!	会場 D
18	日	1:00PM~ 4:00PM	「モザイクタワーキャンドルworkshop」nuri 福岡乃梨子 (キャンドル作家) 参加費：4,200円 (材料費込) カラフルなモザイクキャンドルを作ります。持ち物はいいません。汚れてもいい服装で。	会場 F
25	日	2:00PM~ 6:00PM	「カラフルバードを作りましょう!」IRIIRI (人形作家) 参加費：4,200円 (お茶とお菓子付き) 小さな布製の鳥を作ります。初心者の方も大歓迎! 糸切り鉈をお持ちであればご持参ください。	会場 F
		2:00PM~ 3:30PM	「秋の自然派ワイン会 [10種類のワイン&タバス色々]」坂東武子 (ばんどう酒店) 料金：3,800円 秋のワイン会第1回! 自然派ワイン10種類。レクチャー&ワイン&秋のタバスも一緒に〜	会場 G
28	水	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎 (翻訳家) 参加費：1,500円 (お茶付き) 今回は、『エリカ 奇跡のいのち』(R.V.ジー作、柳田邦男訳) の続きを読む予定です。	会場 H
30	金	7:00PM~	「イランのバラ水でつくる香るコスメ」MASALA 参加料：3,000円 (材料費とお茶代含む) イランで日常的に飲まれている「バラ水」をベースに化粧水やリップクリームをつくりまします。※詳細はお店のウェブで	会場 B

A common café ☎06-6371-1800

B spice&herb café MASALA <http://www.masala-world.jp>

C 若松の浜 ※お問合せ：アクアスタジオ ☎06-6125-0550

D morrison (studio) ☎080-3113-4816

E フレイムハウス ☎06-6226-0107

F タビエスタイル ☎06-4963-7450

G ポーポー屋 ☎06-6531-7827

H 貸本喫茶ちょうちょうぽこ <http://www.geocities.co.jp/chochoboko/>

I スタンダードブックストア ☎06-6484-2239



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、
京阪電車中之島線なわ橋駅地下1階の「アートエリアB1」。9月のラインアップはこんな感じ。

13	火	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「見えないものはなぜ恐いのか」 定員：50名程度 「見えないもの」「予見できないもの」に対して、私たちはなぜ恐ろしいと感じるのか、恐れとは何かについて話し合います。
21	水	7:00PM～ 9:00PM	鉄道カフェ「九州新幹線を語ろう！」 定員：30名程度 今年3月に開業した九州新幹線がテーマ。CMなどを見ながら、九州新幹線の魅力について話し合います。
22	木	6:00PM～ 7:30PM	歯医者さんとカフェ／「Well-Beingを考える」 定員：50名程度 WHO（世界保健機関）が「健康」を定義した際に用いた「Well-Being」の意味について、歯医者さんと一緒に考えます。ゲスト／中村譲治（NPO法人ウェルビーイング理事）
27	火	7:00PM～ 9:00PM	シアターカフェ／「セリフの覚え方2」 定員：30名程度 「セリフの覚え方」2回目の今回は俳優の高杉征司さんを迎え、セリフを覚える際に気をつけていることなどをお伺いします。ゲスト／高杉征司（俳優）
28	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／書評カフェ『「コミュニケーション能力がない」と悩むまえに』 定員：50名程度 『「コミュニケーション能力がない」と悩むまえに』を参照しながら、誰もが抱えがちな「関係的な生きづらさ」の正体を、みんなで考えてみましょう。

会場／アートエリアB1 参加費／全て無料 当日先着順・入退場自由 問い合わせ／「カフェの内容について」大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

3・10	土	10:30AM～ 12:00AM	「海と貿易がつくった日本史～最新の歴史教育から～」 桃木至朗（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授） 受講料：3,150円（全2回） 歴史教育について議論が続いていますが、困るのは大人たちが自分の受けた教育内容が変わっていないという前提で議論すること。「わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史」の最先端をご紹介します。
		1:30PM～ 3:00PM	「脳のはたらきと記憶のしくみ」 小倉明彦（大阪大学大学院生命機能研究科教授） 受講料：3,150円（全2回） 脳の働きの一例として、記憶のしくみを解説します。1回目は、現時点でわかっていることについて。2回目は、まだわかっていないことについて、仮説を立てます。※内容は昨年12月の同講座と重複しますので、初回の方の受講を優先します。
9	金	1:30PM～ 3:00PM	「おもしろ日本語学～ことばの変化」 小矢野哲夫（大阪大学大学院言語文化研究科教授） 受講料：1,575円 ことばは、長い時間をかけて徐々に変化するため、時間幅を長くすると変化が理解できます。「全然」や、「やώρα」の用法、「ち」「づ」の表記と発音などを例に、観察してみましょう。

会場／大阪大学中之島センター インターネット、電話、ファックスか、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込むことができます。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX.06-6222-5221 問い合わせ／朝日カルチャーセンター（中之島）☎06-6222-5224

●大阪大学21世紀懐徳堂講座 大阪大学創立80周年記念スペシャル

10/8	土	5:00PM～ 6:40PM	「歴史を見る視点」 平田オリザ・桃木至朗（共に大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授） 受講料：無料 平田オリザ作・演出の「ヤルタ会談」を上演後、桃木至朗教授を迎えて、芸術家と歴史学者の「歴史」に対する眼差しの差異と同一性を探ります。
------	---	-------------------	--

会場／大阪大学会館1階 大阪大学21世紀懐徳堂スタジオ（豊中キャンパス） 定員／100名 申込方法／受講希望講座名「歴史を見る視点」・名前（フリガナ）・住所（郵便番号）・メールアドレスまたは電話番号を明記の上、メールまたはFAXでお申込みください。メール：geigaku@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp ※件名を「芸術する学問」とすること。FAX.06-6850-6449 問い合わせ／☎06-6850-6443 ※申し込み受付後、一週間以内に受講票（ハガキ）を郵送します。

●大阪大学×大阪ガス「アカデミックキング」＊専門分野の講義＆「料理実習」で＊学問するココロ。が実践的に身につきます。

10/28	金	6:30PM～ 9:00PM	「きのご食べちゃい隊」 栗原佐智子 ポピュラーなのに、時には高級品、時には家にも突然生えてしまう、きのこ。きのこって一体なんなのか、きのこのおいしさってなんなのか、栄養学・植物的な面から探検して、食べちゃいましょう。課題料理／きのこたっぷり、秋のごちそう
-------	---	-------------------	--

会場／大阪ガスクッキングスクール千里 受講料／1,500円 申込受付期間／9月7日（水）～9月21日（水）（web申込受付は9月7日（水）0:00AM～、電話による受付は9月9日（金）11:00AM～）申込多数の場合は抽選の上、当選者の方にのみ9月22日（木）にご案内を発送します。
申し込み・問い合わせ／大阪ガスクッキングスクール千里☎06-6871-8561 http://www.og-cookingschool.com/

中之島ふら青春記²⁸ 久坂部 羊

医学生今昔物語

私が大学に入ったのは今から36年前で、まだパソコンもケータイもカラオケボックスもない時代だった。そう考えると、時間がいっぱいあったのもうなすける。

大学の6年間は、最後の1年を除いて、私は長い休暇も同然だった。入るときには苦労したが、合格すればこっちのもの。講義はそっちのけで、実習も適当にこなし、テストはカンニ

ングで通した。その代わりに、本を読み、サッカーをやり、あちこち一人旅をし、いろんな人に出会い、恋愛に悩み、みんなに隠れて必死で小説らしきものを書いていた。

先日、緒方洪庵生誕200年記念のシンポジウムで、「医療以外の分野で活躍する人」という嬉しいような哀しいような講演会があり、私も演者の一人として呼ばれた。聴くのは医学生で、私の同級生が世話役をしていた。

当日、会場に行くと、世話役の同級生が来て、今の医学生のたいへんさを切々と語った。代返やカンニングは厳しく取り締まられ、さまざまな監視や管理があつて、実に窮屈だという。

「そらたいへんやな。俺たちの時代はよかったなあ」と笑って終わるのかと思うと、同級生はかなり不安げにこう付け足した。

「今日の講演では、講義をさぼったこととか、カンニングのこととかは言わないでくれよ」

講演を聴いた学生が、私の話に感化されて、同じような考えを持つと、えらいことになりかねないというのだ。

同級生が心配したのには伏線がある。彼は大学で学生を支援する役についていて、学生が講義に出なくなったりすると、放っておけないらしい。私のころには、講義に出るも出ないも学生の自由で、出なければ本人が損をするだけという感じだった。ところが今は引きこもりやうつ病があるので、大学が講義に出ない学生を放置していると、あとで問題になりかねないという。大学がそこまで学生の面倒を見てくれるとは、親切というかおせっかいというか……。

講演会の少し前に出た学生新聞の記事も、問題になっていたらしい。医学部の新聞部が私に取材に来て、学生時代の話を聞きたいということで、事実のままだとべつた。基礎配属という実習をサポート、3週間の北海道旅行をしたとか、解剖のときも息抜きに卓球を2時間くらいしたというような話だ。それが記事になり、同級生の不安を煽ったようだった。

世話役の同級生に聞くと、今の医学生は臨床実習の前に、CBTという共用試験を受けなければならぬらしい。臨床実習では、実際に患者を診察させてもらうから、学生にもそれなりの質の保証が必要ということだろう。



我々のときはそんな試験などなく、5回生に進級したという事実が質の保証になっていた。だが、今はそれでは世間が納得しないようだ。

余談だが、医師免許もむかしは医学部を卒業すれば自動的にもらえた。国家試験がはじまったのは、第二次世界大戦後にアメリカの指導があつて以降だ。卒業だけで免許を与えていると、大学によって基準が異なる可能性があるのが、国で統一試験をすることになったわけだ。

ほかにも、今の医学生はOSCE（客観的臨床能力試験）という訳語を見ただけで震え上がりそうな試験もあり、とにかく試験と管理で追いまくられ、遊んでいるヒマなどないらしい。

卒業後の研修も、我々のころは大学病院ですんなり受け入れてもらえたが、今はマッチング方式といって、よい病院の研修ポストを他大学の医学生と競わなければならないので、のんびりしてられない。

そんなふうに締めつけるから、神経症になったり、落ちこぼれる学生が出てくるのではないか。それを支援する優しいシステムがあるから、自力で立ち直れない。我々のころは、落ちこぼれはどうぞご勝手にという雰囲気だったから、それが学生の危機感となり、尻に火がつきかけると、これではいけないと頑張つて、なんとか帳尻を合わせていたような気がする。

今は世間の厳しい安全要求と、競争原理によって、医学生は人格形成をする余裕がすっかりなくなっているようだ。そんな学生が医師にな

つて、患者の気持ちに寄り添えるのか……と、遊びほうけていた自分を正当化してみたりする。

講演会では、同級生に迷惑がからないように、私のサボリ話は割愛して、医学生と医師の感覚のちがいについて話した。

医学生の場合は、医師の感覚よりも、患者の立場に近い感覚が強く残っている。だから、若い女性の心音を聴こうとして自分の鼓動が早まったり、多量の出血を見て青ざめたりする。医療の矛盾にも、患者目線で疑問を感じられる。

しかし、医師になって、さまざまな経験をするうちに、悲惨な現実慣れ、患者の不安や恐怖に共感しにくくなってしまふ。それが無神経な言葉遣いや、配慮を欠いた病名告知となって、患者を傷つける。だから、学生諸君は今の感覚を大事にしてほしい。

医療の現場には、さまざまな矛盾がある。脳死の問題や代理母、尊厳死や延命治療の是非など、答えの出にくい問題も多い。それらに直面したとき、患者側の感覚を忘れていては、どんな結論も説得力を持ち得ない。

そんなふうに話すと、聴衆から一定の手応えが感じられた。さすが、きれいな事はウケがいいようだ。

そこで私はもつと実際の話をした。

医学部の教育では、命の尊さや医師の使命、患者に対する思いやりの重要性を教わるだろうが、そんな理想を胸に刻んで巣立った者は、ろ

くな医師にならない。なぜなら、現実とは想像以上に過酷で、理不尽で、不条理だからだ。

身勝手な患者、厚かましい家族、神経質すぎる患者や、現実を受け入れられない家族。さらには、よかれと思つてしたアドバイスを無視したり、自分から身体に悪いことをする患者もある。もちろん、すべてがそんなひどい患者ではないが、病気の不安や恐怖にとらわれたとき、得てして人はその悪い面を露呈する。それに向き合い、親切的な医療を続けるには、相当な心づもりと寛容さが必要である。

医学部に入った諸君の多くは、子どものころから成績優秀で、ほめられて育った者が多いだろう。そういうエリートは挫折に弱い。ちよつと理不尽な患者に当たると、すぐに傷つく。あるいはキレる。それを繰り返していると、患者のために一生懸命になることが馬鹿馬鹿しくなってしまう。すると、医師は一気にやる気をなくす。これまでの苦労や努力の成果を取りもどそうと、患者の診療より自分の収入や休暇を優先する医師になる。私はそんな医師を何人も見た。

だから、真によい医師であり続けようと思うなら、ひどい患者にスポイルされないタフな精神力が必要である。理想や使命感に酔うヒマがあつたら、患者の現実をしつかり踏まえて、十分な心の準備をしておくべきである。

聴衆から戸惑いが伝わってきたが、たぶんそれが現実だろう。現実はいつも甘くはない。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

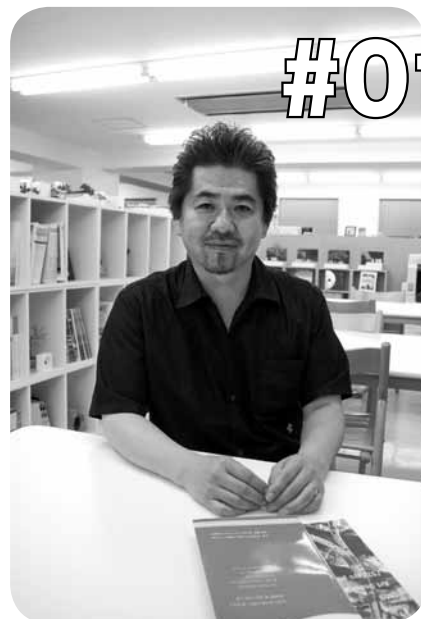
現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

「今年1月より、地元の希望者を募って、月1回のペースで読書会を開いています。

8月のテーマ本は『容疑者Xの献身』。平均年齢70歳に近い参加者の皆さんと活発な意見交換をしつつ、勉強させてもらっています」

#01



くつな・ひろき 株式会社E-DESIGN代表。ランドスケープデザイナー。都市開発から、庭園などヒューマンスケールなものまで幅広い「場作り」を手がける。

「街のいろいろな使い方を、
試しにやってみる機会にしたい」
忽那裕樹さん

街の見方って、人によって違うでしょう。自分には思いもよらない方法で楽しく過ごしている人の顔を見ると、すごく嬉しくなるんです。
僕はランドスケープデザイナーなので、公園や広場をデザインするのが仕事。ただ、ハードを造るだけでなく、周りに住む人たちがそこで何をするかというソフトの面も大切にしたい。水都大阪フェス2011で企画している「水辺ピクニック」もその一つで、これはまさに街なかで遠足をしようというもの。例えば、道路の上に座るだけで街の風景が違って見える。いわば街の使いこなしの提案でもあるんです。「こんな風にするのが楽しいですよ」と提案すること、参加した人が自分なりの使いこなしを発見してほしいですね。



My Challenge

「水辺ピクニック」
10/22(土)～30(日)
中之島を中心に、水辺を遠足会場に見立てていろいろなピクニックを開催。設置されているアート作品を見ながらの「アートピクニック」、子供たちが集まる「キッズピクニック」など、街での自由な過ごし方を実感できる。

水辺のまちあそび

水都大阪
フェス2011

AQUA METROPOLIS OSAKA 2011 FESTIVAL

水都大阪Challenger!

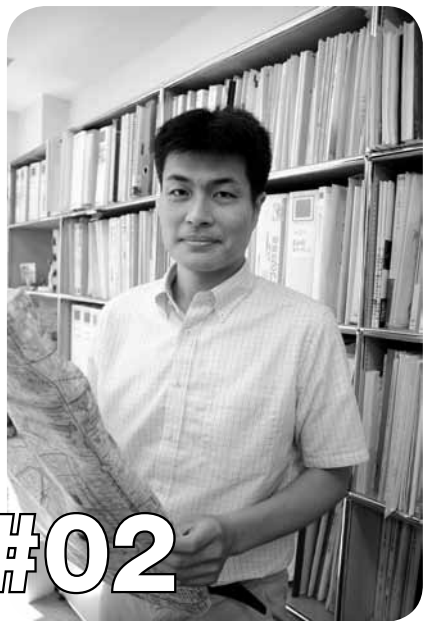
大阪の人たちにもっと川や水辺に親しんでもらうための街づくりムーブメント、「水都大阪」。
10月から始まる「水都大阪フェス2011」の盛り上げ役となる、ディレクターたちの熱い思いと実践をご紹介します。

取材・文/大迫力(本誌)

「こんなことが実現するんだ!」
と感ぜてもらえると嬉しい!」
泉英明さん

僕の役割は、異分野の人同士をつなぐこと。街の人や、舟運関係の行政担当者など、一つのプログラムを実現するには多くの立場の人が関わってきます。ただ、その人たちの間には接点がない。彼らと同じ目標像を共有して、盛り上げていくのが一番楽しいですね。

今回からスタートする「大阪水辺バル」もそう。船で移動しながら飲食店を回るといいますが、水辺の飲食店も多いし、川を走る船もたくさんあるのに、今まではできなかった。アイデアを思い付いても誰にどう働きかけて良いかわからなかったからです。でも、楽しもうという気持ちがあればできるんです。水都大阪フェスが、そういうチャレンジの場になれば良いですね。



#02

いずみ・ひであき 有限会社ハートビートプラン代表。専門は都市計画。OSAKA旅めがねはじめ、川・船・食など大阪の武器を活かしたプログラム作りに関わる。



My Challenge

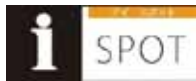
「大阪水辺バル」10/22(土)
1冊3,000円の手ケット(600円×5枚)を買って、天満橋・北浜・本町・福島・大正などの飲食店をめぐる。5枚中2枚は乗船券としても使い、川をめぐる楽しみも。

「大阪まちあるきCUP」10/1(土)～31(月)
OSAKA旅めがねや大阪あそびなど、街歩きツアーの運営者が一体となって約30のツアーを開催。「一番楽しんだ参加者」にグランプリが贈られる趣向も面白い。

水都大阪
AQUA METROPOLIS OSAKA

水都大阪フェス2011「水辺のまちあそび やってみたいを叶えよう!」

10月22日(土)～30日(日)中之島を中心に、大阪市内各地で開催! ◎イベント情報など詳細は<http://www.osaka-info.jp/suito2011/>でチェック!



淀屋橋odona アイ・スポット通信

2011年9月



淀屋橋駅直結の複合型商業施設「淀屋橋odona」の2階にある情報発信スペース「アイ・スポット」では、大阪の歴史に関する展示が無料で見られるほか、月刊島民をはじめとするフリーペーパーなど街の情報も集まっています。さらに、毎月さまざまなミニセミナーも開催。会社帰りに、街遊びのついでに、ぜひお立ち寄りください！



御堂筋デザインストリート2011

主催：大阪市 共催：(社)大阪国際見本市委員会
問い合わせ／☎06-6612-1616
各イベント詳細は、公式HP (<http://midousujidesignstreet.com>) をご参照ください。

セミナー

9/18 (日) 3:00PM～5:00PM

「脱初心者! デジタル一眼レフカメラ入門講座」

デジタル一眼レフカメラの性能をイマイチ引き出せていないと感じている方を対象に、難解なキーワードの解説から、撮影方法までを実践解説します。※カメラをお持ちの方は、ご持参ください。

セミナー

9/19 (月・祝) 3:00PM～5:00PM

「いまさら聞けない『Facebook』解説講座」

世界No.1のソーシャルネットワークサービスとなった「Facebook」。これから登録を検討している方や登録はしているが使いこなせていない方を対象にしたセミナーを行います。

●18日、19日共に公式HP (<http://midousujidesignstreet.com>) から事前にお申込みください

展示

9/12 (月) ～19 (月・祝)

「未来のクリエイターによる作品展示」

これからプロを目指すクリエイターのタマゴ達の作品展示です。デジタルハリウッドによるOJT (オンザジョブトレーニング) で手掛けた作品を中心に、その他卒業制作作品の展示とECCコンピュータ専門学校による「地球救済」をテーマにキャラクターをデザインした作品の展示を行います。※19日 (月・祝) は～5:00PM

展示

9/20 (火) ～10/11 (火)

奈路道程『月刊島民』表紙画展 「大阪の人と街」

『月刊島民』の表紙を、創刊号から描き続けている大阪市在住のイラストレーター・奈路道程さん。今回の展覧会では、そのイラストを展示すると共に、発想の方法などの制作秘話も公開。表紙として見ているのはまた違った面白さや街の魅力がきっと伝わるはず。会場では、『月刊島民』のバックナンバーも一挙蔵出しします。

トーク

9/26 (月) 7:00PM～9:00PM

御堂筋Talkin'About vol.9 「大阪のモノづくり」

ナビゲーター/生駒伸夫 (生駒ビルディング)・小川清 (平岡珈琲店)・山納洋 (大阪ガス) 毎回、一つのテーマについて集まった人たちが語り合うサロン「御堂筋Talkin'About」。9月のテーマは「大阪のモノづくり」です。明治以降に紡績、機械、金属、家電などの工業を背景に発展してきた大阪には、モノづくりの技術が集積。また伝統工芸も多く残されており、大阪らしい職人気質や地域性・文化性が息づいています。その魅力と可能性について話し合います。●予約不要・当日先着順

トーク

9/28 (水) 7:00PM～9:00PM

船場大学淀屋橋キャンパス 「食べる、を楽しむ、学ぶ2」

船場大学は淀屋橋・本町・心斎橋をキャンパスに見立てた、大学生中心の学びの場。前回に引き続き、食べることを生活の中で実践している大学生が集まり、食の未来を考えます。関西学院大学・神戸女学院大学・武庫川女子大学の子メンバーによるパンを愛するサークル「SammyPan」のその後の新たな活動の報告を中心に、食に対する視野や意識の幅を広げていきます。●予約不要・当日先着順

アイ・スポット 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona2階 TEL&FAX. 06-4866-6803 E-MAIL. i-spot@voice.ocn.ne.jp
開館時間：11:00AM～9:00PM (土・日・祝～8:00PM) 年末年始休 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅10番出口直結 京阪本線「淀屋橋」駅徒歩1分
<http://nakanoshima-univ.com/site/ispot/>

申し込みも、
セミナーレポートも、
島民バックナンバーも...

ナカノシマ大学ウェブサイトで!



ナカノシマ大学のウェブサイトでは、毎月の講座の申し込みだけでなく、楽しめるコンテンツが満載。これまでに開催された講座の様子がわかる「セミナーレポート」のページのほか、島民のバックナンバーをダウンロードできるページもあり。島民、ナカノシマ大学のことならなんでも、ナカノシマ大学ウェブサイトどうぞ。

- 講座のお申し込み ●バックナンバーのダウンロード
- 過去の講座のレポート ●中之島の遊び方紹介

iPadでも見られます!

『月刊島民』がiPad用のアプリとして登場! iTunesストアで『月刊島民』と検索し、アプリをダウンロードするだけで、無料で簡単に手に入れることができます。毎月1日前後に最新号をリリースします。

トウニン月報

2011年9月1日発行

「大阪クラシック」の季節がやってきた!



大阪の街を会場として行われるコンサート「大阪クラシック」が9月4日から始まる。大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、大小のユニットとなり、今年は1週間で83公演が行われる。

音楽監督である指揮者の大植英次さんがプロデューサーとなり、2006年から毎年開催されている「大阪クラシック」は、聴いてみたいけれどやや敷居が高いクラシック音楽を気軽に楽しめるとあって大人気。ほとんどの公演が無料で聴けるだけでなく、島民でもおなじみのアートエリアB1や、中之島・御堂筋沿いのビルやカフェが会場になる珍しさも手伝って昨年の延べ観客数は5万人を超えた。世界でも類を見ない、街をそのままコンサート会場にするこのイベント。大阪市のサイバスカウンターでプログラムも配付されているので、それを見ながらあらかじめそののきっと楽しいはずだ。

(大迫力・本誌)

大阪クラシック

開催期間／9月4日(日)～10日(土)
料金／一部ホールでの公演を除き無料
問い合わせ／大阪フィルハーモニー
(大阪クラシック専用回線)
☎050-5810-0923
(10:00AM～6:00PM、
土曜～1:00PM)



「美術館のある街」へ未来を先取りする展覧会

中之島4丁目の国立国際美術館の北側、現在は空き地になっているスペースは「大阪市立近代美術館」の建設予定地とされ、2017年度の開館を目指して準備が進められている。首を長くして待っている人も多いと思われるが、そんな未来を先取りするような展覧会が開催される。

「中之島コレクションズ」では、国立国際美術館と大阪市立近代美術館がタッグを組み、2館のコレクションのハイライトとも言える作品群が登場する。ピカソ、モディリアーニ、デュシャンなど20世紀

を代表する作家たちから、ステラ、ウォーホルなどアメリカの戦後美術、そして国立国際美術館が積極的に収集を行っている現代絵画、さらに大阪市立近代美術館のコレクションの目玉である佐伯祐三といった教科書でもおなじみの有名作品が中之島に集結する。大阪が誇る世界的な作品に出会う絶好の機会だ。(大迫力・本誌)



パブロ・ピカソ 《ポスターのある風景》 1912年 国立国際美術館蔵
©2011-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)



マリー・ローランサン 《プリンセス達》 1928年
大阪市立近代美術館建設準備室蔵
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2011



「中之島コレクションズ 大阪市立近代美術館&国立国際美術館」

開催期間／10月4日(火)～12月11日(日)
※月曜休館。ただし10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は休館。
開館時間／10:00AM～5:00PM(金曜～7:00PM ※入館は閉館30分前まで)
会場／国立国際美術館 地下2階展示場 観覧料／一般420円、大学生130円

近代美術館整備に向けたシンポジウム

「中之島から大阪が変わる—アートによるひとづくり、まちづくり—」

日時／10月4日(火) 3:00PM～ 会場／国立国際美術館 地下1階講堂
定員／130名(申し込み不要・先着順) 入場料／無料
問い合わせ／国立国際美術館 ☎06-6447-4680 (10:00AM～5:00PM ※金曜～7:00PM)

11/08/23 4:04

京阪沿線 島民の部屋から。

取材文／狩野哲也
写真／李宗和

樟葉は駅から少し離れただけで閑静な住宅地になる。公園が点在し、庭先できれいな花を咲かせている家をたくさん見かける。浪本浩一さんと彩さんご夫婦のご自宅も、そんな家のひとつだ。

東京・池袋に住んでいたご夫婦は、独立を機に浩一さんの実家のある樟葉に戻って来た。東京で働いていた彩さんは浩一さんと出会って初めて「樟葉」という場所を知った。「公園が多くて、緑の匂いがあるのが新鮮です。近くの交野天神社には原生林がありますよ」と自然溢れる樟葉に満足な様子だ。浩一さんも、「京阪電車に乗ると樟葉に近づいたとたん、急に視界が広がり山が見えるんですよ。北が天王山で東が男山。山が見えると帰ってきた感があるって落ち着きます。会社が天満橋駅近くにあるので、特急が止まるのもうれしいですね」と語る。



彩さんの趣味はガーデニング。「土をさわっていると無心になれます」と彩さん。



フローリングは3cm厚の杉の無垢の床材を使用している。「肌触りがよく、冬はいったん暖まると冷めないんです」（彩さん）と大好評だ。窓は夏に部屋が暑くなりすぎないように配置になっている。

樟葉

浪本浩一さん・彩さん

地元でできた採れたての野菜が、手渡して手に入る風通しの良い暮らし。



ご夫婦と8歳と4歳の男の子、8ヶ月の女の子の5人暮らし。彩さんはコピーライター、童話作家として活躍。浩一さんは大阪市内のデザイン会社「langDesign（ランデザイン）」代表。
<http://www.langdesign.jp/>



上／子どもたちが遊んだりもできるガレージまわりは、少しずつ自分たちで作っているのだそう。下／300冊以上の絵本がある。童話作家でもある彩さんは「絵本の中の空想の世界は、子どもの豊かな言葉や感情を育ててくれて、いつになっても心の中に残ります。だからたくさん絵本を読んであげたい」と語る。

うちの近所のお気に入り。



市民の森(鏡伝池緑地)

花の森コミュニティ広場、せせらぎの森など8つのゾーンからなる緑地公園。中心にある鏡伝池は平安貴族の遊獵の池だったようで、池面に映る月を詠んだ歌も残されている。花や木が好きなご夫婦も「子どもたちと休日にしょっちゅう遊びにきています」とのこと。管理事務所には、緑化教室などを開く緑の会議室、図書室、展示室などもあり。入園料無料。
☎072-850-2274 9:00AM～5:00PM 毎週水曜日休園（祝日の場合は翌日）京阪バス 樟葉駅発 市民の森行き（2番のりば）に乗車、7分。

彩さんは子育てするにもちょうど良い環境だと感じている。一軒家が多くの住んでいるご近所の方の顔を知っている関係が地域の防犯にもつながる。子どもたちが遊んでいると、近所の人たちが声をかけてくれたりと、自分たちの子どもを気にかけてくれる大人の目がほかにあるという状況に、やはり安心感があるという。

暮らしやすさで言えば、この地域に引越してきたからこそわかった楽しみがあるという。「毎週月曜日の朝、家の前に魚屋さんが獲れたての新鮮な魚を販売に来られるんです。三重県の津からトラックに乗って来られて、もう30年も経つそうですよ」（彩さん）。中ノ芝（八幡市との府境）で畑をされている農家の方が、家まで野菜を売りに来てくれるのだそう。できたての野菜はとてもおいしいそうだ。地元で採れた新鮮な野菜を手渡しで運んでもらえることなど、6年間の東京暮らしでは味わえなかった。

樟葉は緑も多いし、少し足をのばせば自然の中で遊ぶこともでき、何かと楽しい場所と語るおふたり。近くのママさんたちとの会話の中で、結婚を機に地元の樟葉に帰ってくる方が多いようで、何より樟葉の方はこの環境を誇りに思っておられると感じたそう。ご夫婦の話と共に、この街の良さを物語るエピソードだ。



Data 築2年半。2階建てで1階は玄関を開けてすぐリビングというのは彩さんのこだわり。帰ってきた子どもの表情がわかるところがポイントなのとか。珪藻土クロスを使った壁は、質感や色など風合いがあり家の中が落ち着いて感じる。あとから本棚をつけたり、庭を育てたりしやすいよう、全体的に作り込み過ぎないようにした。

ことろまち つくろう
KEIHAN
 京阪電鉄

[illegible]

■所在地／大阪府枚方市
■敷地面積／4,519.51㎡
■総戸数／99戸
◆最寄駅／京阪電車「樟葉」駅

京阪グループが提供する住まいの情報
<http://www.keihan-kiss.co.jp>

つぎのくずは、見えてきた。

半世紀を経て成熟の街並みが広がる「くずはローズタウン」。花と緑と太陽の街にふさわしい住宅街とともに、ショッピングやグルメなどの多彩な暮らしを応援する「くずはモール」やスポーツ・文化を通じて豊かな暮らしを育む「京阪くずは体育文化センター」など、生活環境をトータルに考えた理想的な街づくりを推進してきました。

そうした街づくりの思想を受け継ぎながら、“もっと誇れるくずはへ”を開発コンセプトにした「KUZUHAMALL」増床リニューアル計画や京阪グループの理想を集めたマンション計画も着々と進行しています。いまなお多くの人に愛されるニュータウンは、これからも多くの憧れをかなえるニュータウンへ。心地よい秋風に吹かれて、つぎのくずはが見えてきました。



橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

●京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリストア天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋

●大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕 旭屋書店本店/旭屋書店梅田地下街店/旭屋書店堂島地下街店/カベラ書店/紀伊国屋書店 本店店/ジュンク堂書店大阪本店/ジュンク堂書店梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店天満橋店/ MARUZEN & ジュンク堂書店梅田店/ スターダッドブックストア/ブックスタジオ 千早曙書店大正店/ブックアース梅田店/ブックアース淀屋橋店/文芸堂書店淀屋橋店/隆祥書店
〔公共施設・文化・民間施設等〕 アイスバート 朝日カルチャーセンター 味の素 食のイノベーション/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工芸技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修/情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フイルムーニー協会/大阪ラテンアミ協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪城キャンパス/慶應大阪バーサリティキャンパス/国立国際美術館/ CITY NAIL'S インターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メック局町/ろうきんギャラリー心斎橋
〔店舗・レストラン〕 アリアスホテル 丸門ビル/アンドール 本店本店/上町貨自転車/ Ultra 2nd 江戸前料理店 志津町/ EXPO CAFE / MJB 弟弟子店/ 大西洋服店/ OOO (オー) / コナツ/ 喫茶カネカ/ 喫茶SAWA/ グラスイン・中島/ 黒門とさかゝ/ コモカフェ/ サトウ花店 中之島本店/ サ・ロドリゲス/ ジョー李/ Girard's JR / 心斎橋/ 丸見弟弟子/ 住友病院/ セブイレブ/大阪証券取引所引店/ タピススタイル/ 味のバスマジカ/ たまがわ鍼灸整骨院/ 東郷歯科医院/ NAKAGAWAI948 淀屋橋店/ ナンジャー/ パストラーレ/ 花村/ BAR THE TIME 天神/ 平岡珈琲店/ ビルマニアカフェ/ プレミアムハウス/ ミニロー/ 愛崎商店/ やまとり ばかや/ 花井理容所/ ク・ク・カーニー/ I.F.S.I. ESTON

●大阪市内その他 〔書店〕伊勢屋書店/大阪書店/紀伊國屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳太堂 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 〔店舗・医院など〕あじさい・アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪市信用金庫 江戶町支店/御船かもめ/ Cafe Bookshop and cafe /写真とプリント店/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/バルビコ/ホステル64オオサカ/ MANGUEIRA / Loop A

●大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/ Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/水嶋書房 くずは駅店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画部広報・社会学連携事務局/大阪大学 21世紀徳徳堂/大阪大学本部/男山市民図書館/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ

●大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通リストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/タバーン・シンプソン/百練/奈良県立図書情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 **ザ・北新地。**

東京・銀座と並ぶ夜の街と言われる北新地の「北新地らしさ」とは何か。
誰もが憧れる、中之島の対岸の街の今をお届けする。

●『月刊島民』vol.39は2011年10月1日発行です!

編集・発行人／江 弘毅（編集集団140B）

編集・発行／月刊島民プレス

若狭健作 綱本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行／堀西 賢 (ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社

この街が好き、
おけいはん。

くずは駅前広場（樟葉駅下車）
楠葉けい子（大学生）

きょうも、いいこと、
見つけようかな。



京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※お掛け間違えのないようにお願いします。
[平日] 9時～19時 [土休日] 9時～17時 ※12月30日～翌年1月3日は休業

京
阪
の
人
、
お
け
い
は
ん。

おけいはん 検索
www.okeihan.net